

太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

スーパーの誘致について



60代・女性

最近、町民に会うと話題になるのが、町にスーパーがなく、食料品の買い物には大変不便な思いをしているというお話です。

物価等の値上がりで生活が厳しい中、釧路のスーパーまで行くにしてもバスを利用したり、車を利用したりと、高齢の方はもとより、若い世代の方まで、多くの方が町

内へのスーパーの誘致を望んでいます。ぜひ、町内にスーパーを誘致してもらいたいです。

お答えします

コープさっぽろ白糠店の閉店後、町内において買い物にご不便をきたしているというご意見は、昨年度に実施した「子育て世帯に対する需要調査」をはじめ、議会などを通じて町民の方々からの声が寄せられており、スーパーマーケットを切望する声が大きくなっているものと感じています。

町としては、コープさっぽろ白糠店が撤退しなければならなかった動向などを踏まえ、あくまで民間企業の事業活動ではありませんが、早急にスーパーマーケットの出店の可能性について、調査、検討していきたいと考えています。

〈経済課〉

高齢者への福祉サービスのさらなる充実を切望します



70代・男性

高齢者の方は、円安等による物

価の高騰などが原因で生活が段々と大変な状況になっています。

本町で無料の高齢者福祉サービスは、70歳以上が対象の温浴施設（しらぬかの湯）の利用や75歳以上が対象で、弟子屈町の温泉へ日帰りしている「日帰り温泉事業」のみで、他のほとんどの福祉サービスは一部補助・助成といった受益者負担が原則となっています。

子育て世帯への支援により、少子化の減速を試みる施策は、今の白糠町にとって大変重要であることは十二分に理解しています。しかしながら、今日まで頑張って白糠町を築いてこられた高齢者、功労者に対し、今後も笑顔で安全・安心に暮らすことができるとい希望を持っていただくため、多くの応援をしていただいている「ふるさと納税の寄付金」を利活用し、福祉サービスを今まで以上に厚いものとする必要があると思います。検討していただけないでしょうか。

お答えします

電気やガス等のエネルギーや食料品等の価格高騰により、事業の

経営や消費者の暮らし、特に高齢で年金生活の方には大きな影響を与えています。国民の生活を支援するための取り組みは、国がしっかりと実施していかなければならない問題であると考えています。

町としては、将来に向けて子育て支援や教育、そして町の基幹産業である第一次産業の再興と振興を図るため、さまざまな事業を展開し、その上で、今日まで頑張って白糠の礎を築いてこられた高齢者に対しては、いつまでも健康で、心豊かに暮らしていただけるよう「ふれあい交流事業」や「活動応援ポイント事業」などを行っています。

また、本年度からは新たに「健康ウォーキング事業」を実施するなど、事業の充実を図っているところです。

高齢者の皆さんには「病気になるらない」「要介護にならない」など、「健康で元気に過ごしていただくこと」が大切であり、そのための福祉サービスにつきましては、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

〈介護福祉課・健康こども課〉